



豊後大野市小中一貫教育校緒方学園緒方中学校 学校だより

青雲の大志

令和6年11月8日

NO.64 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

緒方中学校文化祭 Collaboration～一体感を持って～



11月2日(土)に文化祭を実施しました。実行委員会が創意・工夫を発揮したオープニング。各学年が総合的な学習で学んできた「人権」に関する学習発表。「繋(きずな)」をテーマに声も心も繋げた全校合唱。照明・音響・大道具・小道具・そしてダンスチームと役者がコラボして全校生徒で創り上げた全校劇。たくさんのご観覧の皆様の応援もあり、生徒が達成感と充実感をもつ文化祭となりました。ありがとうございました。

来賓及び地域の皆様の感想を紹介します。

◇各学年の発表はよくまとめられており、とても分かりやすかったです。合唱は、3年間聴いてきた中で一番すばらしかったです。声がしっかり出ていてまとまりも良く、指揮者やピアノも上手で、日頃からしっかり練習していたんだなと感じました。劇は長い台詞にもかかわらず、よく覚えられましたね！一人一人が堂々と演技していてすばらしかったです。内容も発表とのつながりが見えてよかったですと思います。今日は生徒の皆さんの成長を見せてもらい、こちら元気をもらいました。ありがとうございました。

◇年を取るということは、色々な経験を積み、心も豊かになっていくこと、と思っていました。本日の生徒の皆さんの発表を聴いて、その純粹さ、心の柔らかさにあらためて、自分の心にアカがついてしまったのか、感性が鈍くなっていたのか思い知りました。本日はありがとうございました。

◇研究発表では、人権や差別についてよく学習し、考察されているなど感心しました。偏見による差別はもってのほかですが、無知や無関心であることが、知らないうちに人を傷つけていることもあることに気付けたのではないのでしょうか。「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」という教えがあるように、人は皆、生まれながら平等であることを再認識することができました。全校合唱や全校劇もよく練習していることが伝わり、見事なコラボレーションだったと思います。本当にお疲れさまでした。

◇学年発表は、系統的な学習が、よくわかる内容でした。合唱は、全校の絆を感じられる歌声でした。劇は、「人間とは」を考えさせられる内容でした。一人一人が長いセリフを自分のものにしていて素晴らしいと思います。

◇半年間見ない間にすごく成長した姿を見ることができて感動しています。人権の発表は、学年ごとの発達段階に応じながらしっかり考えられていて、中学生とは思えないと感じました。全校合唱は毎年恒例ですが、涙が出てきました。仕事で疲れた心がみなさんの合唱で浄化されました。ありがとうございました。緒方中のみなさんが大好きです！これからも頑張ってください！！

◇「差別」はあってはならない事です。生徒たちからの発表は、大変分かりやすく、再度差別について認識しました。差別をなくし、子供たちが成長して大人になり、人間として差別のない社会で明るく、優しい心をもって、日本人として力強く生きてほしいものです。「全校劇」は短い時間で練習し、それぞれの役の演技がすばらしく、感動しました。

